

## 聖母マリアへの奉獻

草薙教会委員長 嶋 光昭



主の平和。令和4年3月25日、教皇フランシスコは、ウクライナとロシアを汚れなき聖母の御心に奉獻されました。

「神の母、わたしたちの母マリアよ、この苦難の時、あなたにより頼みます。母であるあなたは、わたしたちを愛し、わたしたちのことをご存じです。…わたしたちは平和の道を見失いました。…戦争によって地球の庭を荒廃させ、わたしたちが兄弟姉妹として生きることを望まれる御父のみ心を、罪によって傷つけてしまいました。わたしたちは、自分以外のすべての人や物事に無関心になってしまいました。そして、恥ずかしながらこう叫びます。『主よ、おゆるしてください！』…神の母、わたしたちの母よ、あなたの汚れなきみ心に、わたしたち自身を、教会を、全人類を、とくにロシアとウクライナを厳かにゆだね、奉獻いたします。わたしたちが信頼を込めて唱えるこの祈りを聞き入れてください。戦争を終わらせ、世界に平和をもたらしてください。…」(カトリック中央協議会ホームページ)

フランシスコ教皇様の血がにじむようなこの祈りの言葉は胸を打ちます。教皇様はロシアとウクライナだけではなく、全人類を聖母に奉獻されました。この戦争は、ロシアだけの問題ではありません。全人類の問題です。戦争で亡くなられた人々はわたしたちの罪のために、わたしたちの代わりとなって犠牲になられたとも言えるのではないのでしょうか。わたしたちは聖母のみ心をとおして主にゆだねられました。わたしたちを主と聖母の御心にふさわしいものとしてください。



ウクライナの  
平和のために  
ともに祈りましょう

聖ヨハネ・パウロ二世教皇が回勅『救い主の母』で触れられています、聖グレゴリオン・ド・モンフォールの『聖母マリアへのまことの信心』(愛心館刊)には聖母マリアへの自己奉獻の霊妙な効能が熱く語られています。著者はマリアについてもっと知られなくてはならないと言います。「マリアが、世の人に知られ、マリアの支配が地上に来た後にこそ、はじめてキリストも、世の人に知られ、キリストの御国もこの世に来るのです。…キリストを地上に降誕させたのはマリアです。だから、キリストを世にかがやかすのも当然、この同じマリアでなければなりません。」(P28)「神は、へりくだるマリアを、ご自分の軍団の総指揮者、ご自分のタカラの管理者、恩寵の分配者、ご自分の大事業の現場監督、人類の改造者、人びとの仲介者、神の敵の粉碎者、ご自分の偉大さと勝利の同伴者となさいました。」(P41)「もしも人類のかしらイエス・キリストがマリアから生まれたのなら、このかしらのからだであるすべての救われる人も、当然の帰結として、マリアから生まれねばなりません。」(P44)「マリアこそ、イエス・キリストにいたるいちばん確実な、いちばん容易な、いちばん短い、いちばん完全な道だということがわかるでしょう。そして、完全にイエス・キリストのものになりきるために、自分のからだも、たましいも、残りくまなくマリアに捧げ尽くすでし

よう。」(P72)

教皇様に心を合わせて祈ります。汚れなきおとめ、わたしのマリア様、わたしは、今日、そして永遠にわたし自身の奉獻を新たにします。人々の靈魂の救いのために、わたしをご自由にお使いくださいますように。慢心に陥りやすいわたしを清めてください。無関心に流れやすいわたしを目覚めさせてください。東方正教会の兄弟姉妹を含め、すべての信仰者を一致させてください。世界に平和をお与えください。神に感謝。主に栄光。

.....  
今月のフォト・ギャラリー

**ヴェトナム青年たちによる“マリア祭”**

5月の聖母月を祝うヴェトナム青年たちのマリア祭が5月15日(日)のミサ後、聖堂で行われました。この日のために青年たちは4月初めから教会やサレジオを借りて練習に励んできました。

コロナ感染症や暗いニュースばかりの中にもかかわらず、平和と病気からの回復を願う、聖母マリアへの祈りと美しいおどりをありがとうございました。

